

# 入札公告

次のとおり一般競争入札に付します。

令和3年11月30日

国立研究開発法人水産研究・教育機構  
水産資源研究所管理部門  
釧路拠点長 伊藤 正木

## 1. 調達内容

- (1) 調達件名及び数量 音響調査データ解析業務
- (2) 調達仕様 入札説明書による。
- (3) 履行期限 令和4年3月22日
- (4) 納品場所 北海道釧路市桂恋116番地  
国立研究開発法人水産研究・教育機構  
水産資源研究所 釧路庁舎
- (5) 入札方法 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の100分の10に相当する金額を切り捨てた金額（当該金額に消費税及び地方消費税に係る課税事業者希望金額を加算し、その入札者による金額の110分の100に相当する金額を切り捨てた金額）をもち、入札書に記載する金額を記入する。

## 2. 競争参加資格

- (1) 国立研究開発法人水産研究・教育機構契約事務取扱規程（平成13年4月1日付け13水研第65号）第12条第1項及び第13条の規定に該当しない者であること。
- (2) 平成31・32・33年度国立研究開発法人水産研究・教育機構競争参加資格又は全省庁統一資格の「役務の提供等契約」の業種「調査・研究」又は「その他」で「A」、「B」、「C」又は「D」いずれかの等級に格付けされている者であること。
- (3) 国立研究開発法人水産研究・教育機構理事長から物品の製造契約、物品の販売契約及び役務等契約指名停止措置要領に基づき指名停止を受けている期間中でないこと。ただし、全省庁統一資格に格付けされている場合は、国の機関の同様の指名停止措置要領に基づき指名停止を受けている期間中でないこと。
- (4) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第32条第1項各号に掲げる者でないこと。

## 3. 入札説明書等の交付方法

競争参加希望者は、以下により入札説明書等（入札説明書の交付を受けること。入札書様式、委任状様式等）の交付を受けること。

① 直接交付  
北海道釧路市桂恋116番地  
国立研究開発法人水産研究・教育機構水産資源研究所  
釧路庁舎  
電話 0154-91-9136  
FAX 0154-91-9355

② 宅配便着払いによる交付  
任意書式に「音響調査データ解析業務入札説明書宅配便に希望」と記入し、社名、担当者名、住所、電話番号を記載のうえ、上記①にてFAX送信すること。

③ メールによる交付  
任意書式に「音響調査データ解析業務入札説明書メールアドレス、希望」と記入し、社名、担当者名、メールアドレス、電話番号を記載のうえ、上記①にてFAX送信すること。

## 4. 入札説明会の日時及び場所等

仕様書等に関する質疑がある場合は、令和3年12月10日までに上記3.あたりにて質疑を行うこと。当日までに質疑を取りまとめ、回答は入札説明会にて行う。入札説明会に代える。

なお、当該日以降に質疑が発生した場合も随時受け付け、同様に対応する。内容に個人に関する情報であって特定の個人を識別し得る記述がある場合は、当該箇所を伏せ又は当該質疑を公表せず、質疑者のみに回答することがある。

## 6. 入札の日時及び場所等

- (1) 入札の日時及び場所 令和3年12月17日 11時00分  
北海道釧路市桂恋116番地  
国立研究開発法人水産研究・教育機構  
水産資源研究所釧路庁舎 会議室
- (2) 郵便による入札書の受領期限及び提出場所 令和3年12月16日 16時00分  
3. ①に同じ。

## 7. その他

- (1) 契約手続きにおいて使用する言語及び通貨 日本語及び日本国通貨。
- (2) 入札保証金及び契約保証金 免除。
- (3) 入札の無効 本公告に示した競争参加資格のない者の提出した入札書及び入札に関する条件に違反した入札書は無効とする。
- (4) 契約書作成の要否 要。
- (5) 落札者の決定方法 予定価格の制限の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行った入札者を落札者とする。
- (6) 競争参加者は、入札の際に国立研究開発法人水産研究・教育機構の資格審査結果通知書写し又は全省庁統一資格の資格審査結果通知書写しを提出すること。
- (7) 詳細は入札説明書による。

## 8. 契約に係る情報の公表

- (1) 公表の対象となる契約先  
次の①及び②いずれにも該当する契約先  
① 当機構において役員を経験した者（役員経験者）が再就職していること又は課長相当職以上の職を経験した者（課長相当職以上経験者）が役員、顧問等※注1として再就職していること  
② 当機構との間の取引高が、総売上高又は事業収入の3分の1以上を占めていること  
※注2  
なお、「当機構」とは、改称前の独立行政法人水産総合研究センター及び国立研究開発法人水産総合研究センター、統合前の独立行政法人水産大学校を含みます。名称を有する者であるかを問わず、経営や業務運営について、助言すること等により影響力を与えたと認められる者を含む。  
※注1 「役員、顧問等」には、役員、顧問のほか、相談役その他いかなる名称を有する者であるかを問わず、経営や業務運営について、助言すること等により影響力を与えたと認められる者を含む。  
※注2 総売上高又は事業収入の額は、当該契約の締結日における直近の財務諸表に掲げられた額によることとし、取引高は当該財務諸表の対象事業年度における取引の実績による。
- (2) 公表する情報  
上記(1)に該当する契約先について、契約ごとに、物品役務等の名称及び数量、契約締結日、契約先の名称、契約金額等と併せ、次に掲げる情報を公表する。  
① 当機構の役員経験者及び課長相当職以上経験者（当機構OB）の人数、職名及び当機構における最終職名  
② 当機構との間の取引高  
③ 総売上高又は事業収入に占める当機構との間の取引高の割合が、次の区分のいずれかに該当する旨  
3分の1以上2分の1未満、2分の1以上3分の2未満又は3分の2以上  
④ 一者応札又は一者応募である場合はその旨
- (3) 当機構に提供していただく情報  
① 契約締結日時時点で在職している当機構OBに係る情報（人数、現在の職名及び当機構における最終職名等）  
② 直近の事業年度における総売上高又は事業収入及び当機構との間の取引高
- (4) 公表日  
契約締結日の翌日から起算して原則として72日以内（4月に締結した契約については原則として93日以内）

(5) その他  
当機構ホームページ（契約に関する情報）に「国立研究開発法人水産研究・教育機構が  
行う契約の概要を、おま  
結なす  
ま

ホ一ムページ（契約に関する情報）に「国立研究開発法人水産研究・教育機構が  
係る情報の公表及び情報掲載に同意の上、おま  
の当機構へのご提供のご協力を結  
ていただき、ご了知願います。

#### 9. 公的研究費の不正防止にかかる「誓約書」の提出について

当機構では、国より示された「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」（平成19年2月15日文科省決定）に沿って、公的研究費の契約等における不正防止の取り組みを行っており、取り組みのひとつとして、取引先の皆様に「国立研究開発法人水産研究・教育機構との契約等にあたっての注意事項」（URL：[http://www.fra.affrc.go.jp/keiyaku/pledge\\_request/note\\_contract.pdf](http://www.fra.affrc.go.jp/keiyaku/pledge_request/note_contract.pdf)）をご理解いただき、一定金額以上の契約に際して、当該注意事項を遵守する旨の「誓約書」の提出をお願いしています。

公的研究費の不正防止関係書類（①公的研究費の不正防止にかかる「誓約書」の提出について、②国立研究開発法人水産研究・教育機構との契約等にあたっての注意事項、③誓約書）は、入札説明書に添付しますので、契約相手方となった場合は、誓約書の提出をお願いします。

なお、当機構の本部、研究所、開発調査センター、水産大学いずれか1箇所に1回提出していただければ、当機構内の次回以降の契約では再提出する必要はありません。

## 業務仕様書

### 1. 件名

音響調査データ解析業務

### 2. 業務目的

本業務は、2021年に北海道日本海で実施されたスケトウダラを対象とした音響トロール調査において計量魚群探知機（①：SIMRAD EK80、②および③：SIMRAD EK60）で収集した音響データを解析して、調査海域におけるスケトウダラの分布や現存量に関する情報の蓄積に資することを目的とする。

### 3. 納品場所 北海道釧路市桂恋 1 1 6 番地

国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産資源研究所 釧路庁舎

### 4. 業務期限 令和4年 3月 22日

### 5. 業務内容

#### 1) データの送付

当所より、以下の①～③の調査の音響データおよび野帳のファイルを請負者に送付する。なお、送付にかかる運送費は請負者が負担する。

①春季調査（2021年4月、9測線）

②秋季調査（2021年9月、7測線）

③冬季調査（2021年1月と3月、9測線） 合計 25 測線

#### 2) データの確認

請負者は、データを受け取ってから速やかに内容の確認を行い、当所へ受領した旨、連絡を行う。データの欠損や不足等が判明した場合は、認識後速やかに当所へ連絡し、取扱いについて協議する。

#### 3) データ解析

①春季調査（2021年4月、9測線）：請負者は、解析ソフトウェア Echoview（Echoview Software 社製）のバージョン 12.0 で、定線上で収録した周波数 38 kHz および 120 kHz の

音響データを使い、38 kHzの方が120 kHzよりもSV値が2dB以上大きいスケトウダラ仔稚魚の反応を抽出して、定線上1マイルごとの水深10~100 mまでのNASCを算出する。その他の解析上の設定は以下の通り。

- ・船の喫水を4.1 mに設定する
- ・Echogram DisplayのColor display minimumは-74、Color display rangeは24、Color schemeはEK80とする
- ・海底はEKが認識した海底を用い、海底から1 mは解析から除外する
- ・海面から10 mは解析から除外する
- ・スケトウダラ仔稚魚以外の反応（表層のうねりや泡などによるノイズ、オキアミ等のパッチ状の反応および海底上の大型魚の反応）はbad dataとした上で除外する

※解析例のEchoview file (.EV形式)を提供するので、それと同じように解析すること。  
解析途中に適宜、解析結果のEchoview file (.EV形式)やNASC出力結果(.csv形式)を担当者に電子メール添付等で送付して、魚群判別の妥当性等を確認したうえで作業を進めること。

②秋季調査（2021年9月、7測線）および③冬季調査（2021年1月と3月、9測線）：  
請負者は、解析ソフトウェアEchoview (Echoview Software社製)のバージョン12.0を用いて定線上で収録した周波数38 kHzの音響データを解析する。各定線において、②秋季調査では水深およそ200~650 m、③冬季調査では水深およそ300~500 mに分布するスケトウダラ魚群の反応を抽出して、定線上1マイルごとの水深10~800 m（最大収録水深）までのNASCを算出する。その他の解析上の設定は以下の通り。

- ・船の喫水を4.1 mに設定する
- ・Echogram DisplayのColor display minimumは-74、Color display rangeは24、Color schemeはEK80とする
- ・海底はEKが認識した海底を用い、海底から1 mは解析から除外する
- ・海面から10 mは解析から除外する
- ・ノイズ（泡切れ）はbad dataとした上で解析から除外する
- ・トロール等によるデータ収録の中断、再開がある定線では、野帳を参照して同じ地点のNASCを重複して集計しないようにする

※解析途中に適宜、解析結果のEchoview file (.EV形式)やNASC出力結果(.csv形式)を担当者に電子メール添付等で送付して、魚群判別の妥当性等を確認したうえで作業を進めること。

#### 4) 納入成果物等

業務完了後は、各調査について以下の①～③のデータを保存した電子媒体（CD-R 等）1部を水産資源研究所釧路庁舎に速やかに送付、納入すること。また、送付した音響データおよび野帳のファイルを全て返却すること。なお、送付にかかる経費は請負者が負担すること。

①水平方向1マイルごとのスケトウダラ NASC のデータ(.csv 形式)

②各定線の解析結果 Echoview file (.EV 形式)

#### 6. その他

- (1) 作業中に疑義が生じた場合は担当者と適宜打合せを行い、合意を得たうえで作業を進行すること。
- (2) 提出された分析結果について、担当者が確認を行い、不備が発覚したときは全面やり直しを命ずる場合がある。
- (3) 詳細については担当職員の指示に従うこと。